

ブダペスト商科大学(ハンガリー)交換留学

経済学部 3年 長田 陽平

<空港到着から宿舎までの移動について>

私の住んでいるところは大学の隣にある寮になります。寮までの行き方は、まずターミナル2から200E番で終点のケーバーニャ・キシュペシュト駅(Kőbánya – Kispeszt)まで行き、地下鉄M3に乗り、デアーク・フィレンツェ駅(Deak Ferenc ter)でM2に乗り換えます。M2の終点 ウルシュ・ヴェゼール駅(Ors Vezer ter)で降ります。そこから市バスの45番のバスに乗りディオシー・ラヨシュ・ウツツァ(Diósy Lajos)の名前のバス停でおります。このバス停の名前は道路の名前と同じになっており、下りたバス停から向かいの歩道へ渡り、そのバス停と同じ名前の道路を少し入ると、手前に学生寮と駐車場、奥に大学が見えます。



<学生寮について>

建物は五階建て、二人一部屋、キッチン、トイレ、シャワーは共同です。ハンガリーの学生、留学生問わず入居しています。生活については、翌年からはわかりませんが、今年度は日本語を勉強している学生が同じ寮に住んでいて、トラブルがあった時は日本人のサポートをしてくれています。食事は、皆自炊をします。キッチンのIHコンロは四しかありませんが、皆簡単に食事を済ませてしまうため、キッチンが混むということはありません。食材は徒歩三分ぐらいの場所にあるスーパーで安く購入できます。一つのフロアにトイレは二つずつ、シャワーは三つずつとなっており、そのどれかが故障で使えない時もあります。不満な点はありますが、市内で部屋を借りて、ほかの学生と部屋をシェアするとなると、オーナーが英語を話せなかったり、空き巣に入られたりなど、勉強どころではなくなってしまうので、環境がある程度整ったこの学生寮に住むことをお勧めします。



<オリエンテーションについて>

大学生活や大学の施設については、九月のはじめごろにこの大学の留学生のサポートをする Exchange group がオリエンテーションをしてくれます。大学での過ごし方、施設の案内をしてもらいました。授業のオリエンテーションは、授業の初めに先生が行ってくれます。授業やテストのタイプ、成績の付け方を知ることができます。

<クラス、授業について>

いくつかの科目では、一つの科目に、lecture class (lecture course) と practice class (seminar course) の二つがあり、その両方を受けなくてはなりません。一つ目は日本での普通の授業のように大勢の学生(100人ほど)が先生の lecture を受けます。二つ目は、文字どおり、実戦的に授業で習ったことを少人数のゼミ形式で討論をしたりします。一週間での科目数は少なく感じますが、一科目に二つのクラスがあるため、授業数は日本のものと変わりません。

<その他>

ハンガリーで生活していく中で、たくさんのハンガリー人と知り合いました。性格は人それぞれで、ハンガリー人はこういう性格だと決めつけることはできないと思いました。ただ、一般的に言われるのは、時間に関してルーズであるということです。確かに、あまり頓着しないなと感じた場面は多々ありました。しかし、それも気になるほどのものではありません。それと同時に皆おおらかな気質でこちらがミスを犯してしまっても深く追求せず許してくれます。また、ハンガリーには日本の文化が大好きで日本語、日本文化を勉強している学生がたくさんいます。ですので、友達はすぐできます。彼らはとても勉強熱心で、こちらの知らないようなことも知っていて驚かされる場面もありました。

